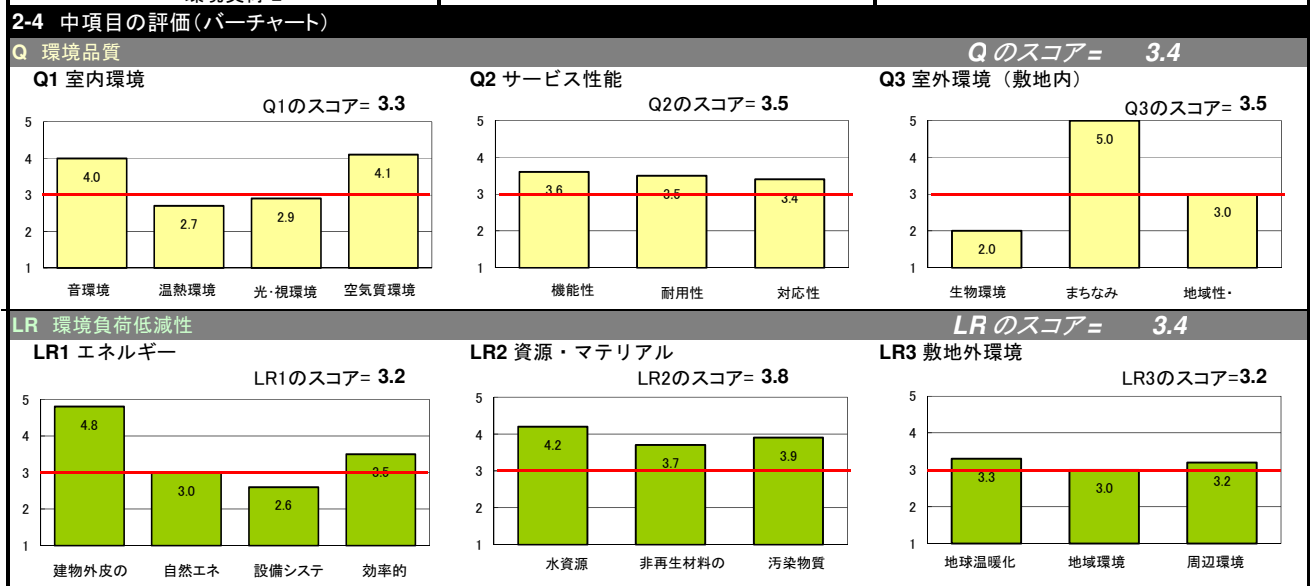
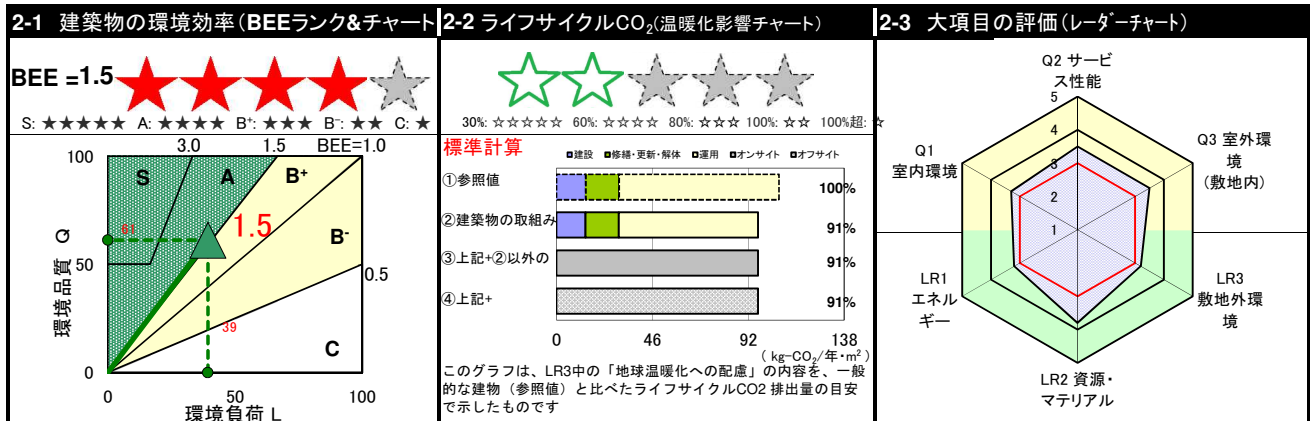


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社ニッセー新本社ビル新築工事	階数	地上3F
建設地	静岡県焼津市下江留881番1、896番	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法22条区域	平均居住人員	87 人
地域区分	7地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2021年4月9日
敷地面積	3,793 m ²	作成者	李 斯奇
建築面積	1,733 m ²	確認日	
延床面積	3,467 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。		その他
Q1 室内環境 ・遮音性能や吸音材の採用により、室内の音環境に配慮している。	Q2 サービス性能 ・居室はゆとりある天井高を確保し、快適性の向上を図っている。 ・耐用年数の長い内外装材や配管材を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) ・周辺の街並みに配慮し、接道部の緑化や水盤の計画を行っている。
LR1 エネルギー ・断熱性能の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・リサイクル材の採用により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。 ・消火剤や発泡剤は汚染物質含有材料の使用を避けた計画としている。	LR3 敷地外環境 ・周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される